決 算 報 告 書

第7期

自　平成２７年9月　１日
至　平成２８年8月３１日

バイオ水素株式会社

神奈川県茅ヶ崎市堤1-1-7-207

バイオ水素株式会社

貸 借 対 照 表

平成28年8月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
[流動資産]		[流動負債]	
現金	0	支払手形	0
普通預金	2,288,488	買掛金	0
受取手形	0	短期借入金	2,015,324
売掛金	0	未払金	0
原材料貯蔵品	93,390	預り金	0
流動資産合計	2,381,878	法人税等未払金	70,000
[固定資産]			
建物			
構築物		流動負債合計	2,085,324
車両運搬具		[固定負債]	
器具備品		長期借入金	0
投資等	1,450,000	固定負債合計	0
固定資産合計	1,450,000	負債の部合計	2,085,324
[繰延資産]		資本の部	
創立費	428,510	[資本金]	4,600,000
その他無形資産	2,014,286	[利益剰余金]	
繰延資産合計	2,442,796	当期未処理損失	△ 410,650
		内当期利益	△ 222,760
		資本の部合計	4,189,350
資産の部合計	6,274,674	負債及び資本の部合計	6,274,674

バイオ水素株式会社

損　益　計　算　書

自　平成２７年9月1日
至　平成２８年8月31日

単位:円

[売　上　高]			
	売　上　高		8,528,000
[売 上 原 価]			
	当期材料仕入高	7,508,981	
	期末材料棚卸高	0	7,508,981
売　上　総　利　益			1,019,019
[販売費および一般管理費]			
	役 員 報 酬	0	
	給 料 手 当	0	
	研 究 開 発 費	1,105,265	
	法 定 福 利 費	21,780	
	福 利 厚 生 費	0	
	旅 費 交 通 費	0	
	広 告 宣 伝 費	0	
	運 賃 運 搬 費	0	
	減 価 償 却 費	0	
	地 代 家 賃	0	
	修　繕　費	0	
	事 務 用 品 費	0	
	交　際　費	0	
	通　信　費	1,140	
	支 払 手 数 料	0	
	賃　借　料	0	
	租 税 公 課	32,950	
	消 耗 品 費	0	
	雑　　費	10,644	1,171,779
営　業　利　益			△ 152,760
[営業外収益]			
	受取利息割引料	0	
	雑　収　入	0	0
[営業外費用]			
	支 払 利 息	0	0
経　常　利　益			△ 152,760
[特 別 利 益]			0
[特 別 損 失]			0
税 引 前 当 期 利 益			△ 152,760
法 人 税 等 充 当 額			70,000
当　期　利　益			△ 222,760

バイオ水素株式会社

株主資本等変動計算書

自　平成２７年9月1日
至　平成２８年8月31日

Ⅰ.株主資本	
1.資本金	
当期変動額	0
当期末残高	4,600,000
2.利益剰余金	
繰越利益剰余金	
当期変動額	
当期純利益	△ 222,760
当期末残高	△ 410,650
株主資本合計	
当期変動額	4,600,000
当期純損失	△ 410,650
当期末残高	4,189,350
純資産の部合計	
当期変動額	4,600,000
当期純損失	△ 410,650
当期末残高	4,189,350

バイオ水素株式会社

個　　別　　注　　記　　表

自　平成２７年9月1日
至　平成２８年8月31日

Ⅰ.重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は売り・買い共、すべて税込み方式を採用しました。

Ⅱ.株主資本等に関する注記

(1)発行済み株式総数	４６株

Ⅲ.一株当たりに関する注記

(1)一株当たりの純資産額	91,073円
(2)一株当たりの当期純損失	8,927円

以上のとおり報告いたします。
平成28年10月15日
バイオ水素株式会社
代表取締役社長　長谷川幸教

BHT決算用参考資料　　　　　　　　　　　　　　2016(H28).9.29

A.はじめに

・今期決算の中身はすべてNEDO関係に基づくものであり、損益計算書における売上高と売上原価は
　すべてNEDOの仕事で発生した金額のみである。
・NEDOエネ・環関係収支（谷生作成）に宮平保健4カ月分￥259,932と宮平謝礼金￥58,300を追加
　したものから、NEDOに請求できなかったものを管理費として欄外に取り出した。
　なお、管理費は一般管理費のうち研究開発費として仕分けし計上した。
・一方、BHT独自で発生した経費関係は一般管理費の適当な項目に仕分けし計上した。

B.NEDOからの収入と支出(金額単位：円)

（収入）

直接費	7,416,000
間接費	1,112,000
合計	8528000

→損益計算書の売上高として計上した。

（支出）

直接費対応：

1．機械装置等費	222,156	3%
2．労務費	1,641,122	21.9
3．消耗品費	1,252,449	16.7
4．旅費	1,141,246	15.2
5．外注費	2,311,200	30.8
6．諸経費	940,808	12.5
合　　計	7508981	97.13

→損益計算書の売上原価として計上した。

間接費対応：NEDOに対して請求出来なかったもの。

	2015.7	8	9	10	11	12	2016.1	2	3	計
プラント使用料	0	116,200	116,200	116,200	116,200	116,200	116,200	0	0	697200
事務所使用料	0	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	0		64800
100V電気代	429	189	286	15,450	19,599	35,473	18,477	24,453	23,255	137611
計	429	127189	127286	142,450	146,599	162,473	145,477	24,453	23255	899611

iBHT支払い	899,611	81.4
振込手数料など	205,654	18.6
計	1,105,265	100

→損益計算書の一般管理費（研究開発費）に計上した。

C.NEDO関係収支

	収入	支出
直接費	7,416,000	7,508,981
間接費	1,112,000	1,105,265
計	8,528,000	8,614,246

→差し引き損金８６，２４６

D.BHT社経費

		出　費	経費処理	仕分け
2015/7/30	会社謄本手数料	600	600	雑費
2015/9/15	預金残高証明	324	324	雑費
2015/9/18	特許印紙	2700	2700	租税公課
2015/9/18	簡易書留など郵便代	590	590	通信費
2015/10/2	特許印紙	1300	1300	租税公課
2015/10/2	特許印紙	50	50	租税公課
2015/10/2	簡易書留など郵便代	550	550	通信費
2015/10/22	役員会会議場借受費	9720	9720	雑費
2015/10/20	国税	18700	18700	租税公課
2015/10/20	茅ケ崎市税	52200	2200	租税公課
2015/10/20	神奈川県税	26800	6800	租税公課
2015/10/7	宮平氏労働保険立替え	21780	21780	法定福利費
2015/10/6	登記簿印紙代	1200	1200	租税公課
		136514	66514	

備考：・市税￥50000と県税￥20000は前年度決算で充当済み。
　∴BHT経常経費は６６５１４円→損益計算書の一般管理費に計上

E.損益計算書まとめ

売上高	8,528,000	8,528,000
原価	7,508,981	7,508,981
売上総利益	1019019	1019019
販管費		1171779
NEDO一般	1,105,265	
BHT一般	66,514	
	1171779	
営業利益		-152,760
期末法人税等充当額		70,000
当期利益		-222,760

F.預金残高試算

	入金	出金
前期末残高	2,758,518	
NEDO請求高	8,528,000	
計	11286518	
前期末未払金		247,270
NEDO支払高		8.614.246
経費		136.514
計		8.998.030
預金残高予想		2.288.488

前期末未払金：昨年度損益計算書で「販売費および一般管理費」で計上したが、同年８月３１日時点では未払いだったもの（通帳未記載）

預金残高予想：→貸借対照表短期借入金2,015,324円（谷生）を含む。

G.売上高・当期利益・利益余剰金・等の推移　金額単位：円

期（年度）	売上高	当期利益	利益余剰金
第１期（H21)	0	-390,118	-390,118
第２期（H22)	1,614,000	130,414	-259,704
第３期（H23)	650,000	19,501	-240,203
第４期(H24)	1,441,587	9,040	-231,163
第５期(H25)	17,508,642	8,479	-222,684
第６期(H26)	270,000	34,794	-187,890
第７期(H27)	8,528,000	-222,760	-410,650

H27 年度事業報告（第 7 期　H27.9.1〜H28.8.31）

2016(H28).10.15

バイオ水素株式会社

1．水素エネルギー社会を目指す国内の現状

下記のような進展が見られる。（順不同）

・国内水素ステーション増設のための企業（自動車、ガス）の動きが活発

・定置式燃料電池設備普及・拡大の流れが加速

・２０２０年東京五輪を見据えた燃料電池バス実証実験ートヨタ、日野自動車１００台以上導入し、路線バスとしての使い勝手の確認等実施計画策定

・離島、僻地での水素/燃料電池を含む再生可能エネルギー普及・拡大に関する国家プロジェクト実施計画策定

２．バイオマスエネルギーに関する国の政策状況と当社の緊急の課題

バイオマスエネルギーの一つであるエタノール製造（ガソリンの代替）が製造コストが高いなど商品化の見通しが立たないため国（環境省、農水省）の施策から外れかけていることから､燃料電池による電力化を目指す水素製造が有力なものとして評価されるものと期待される。そのためには後述するような緊急の課題を克服することが必要である。

３．当社現状と活動状況

・ＮＥＤＯＨ２７年度「新エネルギーベンチャー技術革新事業（フェーズＡ）に「バイオマスからの水素発生菌による高速水素変換技術開発」が採択され、この一年間、掲げた目標を達成するために鋭意努力した結果、事業化にむけての新たな課題が明らかになった。

・糸満プラントを用いての正味の実験期間は６カ月であったのでこれらの課題を解決するところまでは行かなかったが、これらを克服すれば事業化に一歩近づけると確信する。

・上記ＮＥＤＯのプロジェクトでは<u>菌体とシステムの知財化を主目的</u>とし、これを成し遂げて、次のフェーズＢ(基盤研究〕に進めるように努力したが、残念ながら申請は不採用となった。実施期間が短かったことが惜しまれる。

・この間の営業活動（プラント受注と水素生成菌探索キット）は、ほとんど実行できなかった。

４．今後の計画

・NEDO 新エネルギーベンチャー技術革新事業ファーズ A(H27.6〜H28.3、於沖縄糸満研究室)で得られた主な技術的課題は下記のとうりであり事業化のためにはこれらをクリアーしなければならない。

①NaOH 使用料の最少量化ー菌叢の解析、構成種決定、HN001 菌との混合培養での実験による菌種最適菌種の決定と関連特許化

②安定的高速＆高収率連続水素生産技術の開発　等

・これらを実行するためには開発資金が必要である。そのために、国、自治体等への補助金申請を行うことと並行して、関連企業に共同開発を働きかける。

・８期目を迎えるにあたり今後の事業の在り方を考えねばならない時期にある。そのためにも各所で行われる研究会等（横浜水素エネルギー協会など）への参加と宣伝が必要と考える。そして、最終的には有力企業との共同事業化に進めることを期待する。

・水素発生菌探索キットの販売活動

当社が主に　児童用に開発した「水素発生菌探索キット」は、その要求性能のシビアーさから製品化に苦心したものであるが、これまでは、積極的には販売活動を行ってこなかった。固定費を稼ぐために講習会や教育雑誌への投稿等による販売促進やキット販売だけでなく菌種判定、解析結果報告書等をオプションとして販売し、水素生成への興味を引き起こして行きたいと考える。

５．今期の決算概要

上述したように今期は、NEDO 委託事業活動に専念した結果のみが決算面に表れている。損益計算書等に記載した主な項目について下記する。（金額単位：円）

売上高	8,528,000
売上原価	7,508,981
売上総利益	1,019,019
一般管理費	1,171,799（NEDO:1,105,265,BHT:66,514)
営業利益	△152,760
営業外収益	0
経常利益	△152,760
税引前当期利益	△152,760